

全国商工会議所 観光振興大会

2006 in はこだて 主催 日本商工会議所・函館商工会議所



CONTENTS

巻頭特集 第3回 全国商工会議所 観光振興大会 in はこだて開催!!

- ◆新規開業者利子補給制度ご案内 P 8
- ◆11月期パソコン講座ご案内 P12

Consulate Bridal

宗教によらない自由な形の結婚式です。
函館市旧イギリス領事館で交わす
調印式をイメージするお二人の将来を約束する誓いは、
きっとドラマチックな思い出となることでしょう。



おふたりにいちばん近い方々に囲まれながら、領事館を訪れる方々の賑わいのなかで、出発を祝うコンサレートウェディング。

外国旅行での経験や映画のシーンを思い出すチョットおしゃれなウェディングセレモニーです。



挙式の後のご会食は館内レストランで…。



ガーデンでの挙式(5月~10月上旬)

館内での挙式(10月~12月、1月~4月)

コンサレートウェディングプラン

¥150,000(税別)

(挙式料・衣裳・美容・着付・写真)

領事館結婚式

函館市旧イギリス領事館

Old British Consulate of Hakodate

函館市元町33番14号

TEL.0138 (27) 8169 (ブライダル直通)

と も え

10月号
(通巻289号)

特 集

2 全国商工会議所
観光振興大会inはこだて開催

会議所の動き

7 第41回北海道・東北商工会議所連絡会議
部会・委員会報告
第64回全道珠算競技大会開催
議員会・女性会・青年部活動

中小企業相談所だより

9 新規開業者利子補給制度ご案内
金融制度の手引発行開催
各種専門相談ご案内

10月・11月スケジュール・おしらせ

11 各種講習会・セミナーご案内

ご 案 内

12 新入会員ご紹介
会員異動のお知らせ
11月期パソコン講座ご案内

街の元気・情報交差点

13 タックスフェアご案内

事業紹介

14 特定退職金共済制度ご案内

コンベンション情報

15 観光コンベンション情報

函館こぼれ話

16 明治時代の函館名物第1位は
玉川軒の「瓦煎餅」

◆今月の表紙 第3回全国商工会議所 観光振興大会 in はこだて

去る10月12日・13日、当市および近郊において、全国商工会議所観光振興大会inはこだてが開催され、全国各地から約1,200名が訪れ、本大会・各分科会など盛大に行われた。



[本大会、歓迎挨拶をする高野会頭]

視 点

わが国の食料自給率は先進国の中で最も低い水準(40%)で推移している。最も自給率が高いのはオーストラリアの327%であり、次いでフランス136%、アメリカ127%となっており、山岳国で国土の大半を山が占めるスイスでさえ60%である。

なぜわが国の食料自給率が低下してきたかについては、いろいろな意見があるが、大きな理由の一つに、食生活の欧米化により、パン食が急速に進み、コメの消費量が減少、それに伴い小麦、大豆、飼料などの大半を輸入に頼り、肉類の消費も増えたことが自給率低下につながっていると言われている。

食料を輸入に頼ることは、世界情勢や輸入国との関係が良好な状態で保たれている場合、問題ないが、現状そして将来を考えると、食料や石油の奪い合いが地球規模で起きる可能性を常にはらんでいることから食料危機に備え、自給率を早急に高める必要がある。

また、食生活の欧米化は、一方で肥満や糖尿病、高血圧といった成人病の増加につながっており、いまこそ日本の伝統食である和食のよさを見直し、コメの消費拡大、地産地消を声高に叫ぶときではなからうか。次代を担う子供達に食生活の大切さを教える食育も極めて大事な要素といえる。

食料自給率を高めるうえで、日本の食糧基地である北海道が果たす役割も大きなものがある。

農業政策に選択と集中の手法を導入し、効率的な農業経営が出来るよう支援していくことも重要であると思う。

特集

全国商工会議所 観光振興大会 inはこだて開催

の
地域 による
のための ……観光地づくり

体験・滞在型観光の振興と移住の促進



10月12、13日の両日、全国各地から商工会議所、関係団体の代表者らが来函し、また地元から市長、関係者など合わせて1,200名が参加して「第3回全国商工会議所観光振興大会inはこだて」が盛大に開催されました。

初日12日は、函館市民会館において式典・本大会が開催され、日本商工会議所篠原常務理事の開会宣言に続き、本所高野会頭の歓迎挨拶があり、来賓の国土交通省大西官房審議官並びに北海道高橋知事からのご挨拶をいただき進められました。

本大会では、前内閣府特命顧問慶應義塾大学経済学部教授の島田晴雄氏による「日本の観光の問題点と新たな発展への戦略」と題した基調講演があり、その後、丁野朗氏をコーディネーターに島田晴雄氏、浜野安宏氏、江村林香氏によるパネルディスカッションが行われましたが、大会テーマでもあり、現在当地域が推進している「体験・滞在型観光の振興と移住の促進」を切り口とした21世紀型観光についての展望が語られ、聴講者は皆、熱心に聞き入っていました。

またプログラム最後には、今大会の成果として函館アピール（別掲抜粋）が採択されました。

本大会終了後、ホテル函館ロイヤルにおいて交流会が催されましたが、参加された方々には当地ならではの海の幸、山の幸を味わっていただきながら、和やかに歓談いただき、その後、世界三大夜景と称され、函館観光のシンボルでもある函館山の夜景を楽しんでいただきました。

翌13日には、4会場（大沼地区、西部地区、湯の川地区、青函トンネル）において各分科会が行われ、それぞれのテーマに添って招聘された講師陣による事例発表等が行われました。またいずれも趣向を凝らして企画されたエクスカージョンに多くのお客様が参加されました。特に新幹線工事の関係により今回の視察が最後の機会となった、世界一の海底トンネル「青函トンネル」作業坑等の見学では、その技術水準を目の当たりにした多くの参加者から感嘆の声があがりました。

こうして「第3回全国観光振興大会inはこだて」は、2日間の大会全日程を成功裏に終了することができました。



【島田先生による基調講演】

慶應義塾大学島田晴雄教授による基調講演。

日本は「観光立国」戦略を展開すべきであり、その大きな可能性について論ぜられた。また日本の観光について、現状での問題点の指摘と、観光産業強化のための改善策について多くの提案がなされた。

特に豊かな観光・生活資源を有する北海道の役割、なかでも当地函館の観光産業についての方向性と将来性について提言をいただき、またエールを贈っていただいた。

【函館アピール（抜粋）】

一地域の、地域による、地域のための観光地づくりの推進一

- 1 地域資源の再発見・再評価・積極的活用に取り組もう
- 2 まち全体が「観光するところ」「おもてなしのところ」を持とう
- 3 行政間、官民等の連携を推進しよう



▲パネルディスカッション

丁野朗氏をコーディネーターに、島田晴雄氏、浜野安宏氏、江村林香氏による本大会パネルディスカッション。

パネリストはいずれも多方面でグローバルに活躍されているながら、当地函館とも特にゆかりが深く、21世紀型観光についての具体的な議論が熱を帯びた。



▲会本大会ゲート



▲スタッフとして活躍する本所議員並びに女性会・青年部会員

大会2日目は4会場において各分科会が開催された。

第1分科会は大沼国際セミナーハウスにおいて開催され、約100名が参加。

「地域資源の再発見」～国際化・インバウンドへの対応～をテーマにロス・フィンドレー氏、許銘海氏、江明清氏より、それぞれ事例が紹介された。

第2分科会は五島軒本店において開催され、約160名が参加。

「顧客起点の観光地づくり」～移住を視野に入れた新戦略～をテーマに谷澤廣氏、渋川恵男氏の事例発表があり、日商須田観光小委員会委員長により総括が行われた。

第3分科会は花びしホテルにおいて開催され、約150名が参加。

「資源を活かす 地域を活かす」～温泉・食・宿～をテーマに松田忠徳氏、中道博氏、大西雅之氏の事例発表とディスカッションが行われた。また、金道太郎氏より「はこだて湯の川オンパク～湯の川温泉の新しい魅力づくり～」をテーマとした特別事例発表が行われた。

第4分科会は60名が参加して青函トンネル作業坑等の見学を行った。



会議所の うごき

第41回 北海道・東北商工会議所 連絡会議開催!

北海道と東北の商工会議所が相互の交流を深め両地方の経済発展に寄与することを目的に、毎年、各地域持ち回りで行われており、第41回北海道・東北商工会議所連絡会議は9月15日～16日の日程で小樽市において開催され、本所より高野会頭、沼崎副会頭はじめ5名が出席しました。

大会では、商工振興やインフラ整備等の13項目についての協議を行い、いずれも採決されました。

また、来月12日・13日の両日に第3回全国商工会議所観光振興大会inはこだてが開催されることから、開催地挨拶として高野会頭から改めて大会参加へ向けた挨拶が行われました。

なお、議案事項は下記のとおりです。

議案

- 第1号議案 景気対策の推進について
- 第2号議案 中小企業対策と税制改正の推進について
- 第3号議案 総合的なまちづくり対策の推進について
- 第4号議案 東北新幹線「八戸～新青森間」と北海道新幹線「新青森～新函館間」の早期開業並びに「新函館～札幌間」の早期認可・着工について
- 第5号議案 東北・北海道の高速道路等の整備促進について
- 第6号議案 東北・北海道の空港並びに航空網の整備促進について
- 第7号議案 東北・北海道の港湾の整備促進について
- 第8号議案 東北・北海道における魅力ある広域観光の実現について
- 第9号議案 商工会議所等の合併並びに連携に係る支援について
- 第10号議案 地方分権・三位一体改革について
- 第11号議案 地域の自立的発展につながる道州制特区の活用について
- 第12号議案 原油価格高騰に伴う燃料油及び石油関連製品の価格安定について
- 第13号議案 北方領土返還の早期実現について



▲第41回 北海道・東北商工会議所連絡会議



▲振興大会の開催地挨拶をする高野会頭

部会・委員会報告

工業部会正副部会長会議開催

工業部会担当副会頭（森川担当副会頭）、正副部会長会議（堀川部会長、井村・佐藤両副会長）が去る9月6日、函館国際ホテルにおいて開催されました。

当日は、今後の部会幹事会の進め方を中心に協議がなされ、その結果、コンベンションホール（多目的ホール）建設について更に協議を進め行政への提言を行っていくこととなりました。

また、視察研修先については、次回の部会幹事会開催時に提案し協議を行うことを確認し、次回部会幹事会を10月19日本所において開催することとなりました。

広域連携委員会開催

広域連携委員会（松本委員長）が所管する函館商工会議所・函館市銭亀沢商工会統合研究会が去る9月13日、ホテルロイヤル柏木において開催されました。

当日は、双方から10名の委員が出席し、銭亀側からこれまでの当研究会の協議結果を踏まえた対応について説明がなされました。これを受け、今後は、さらに具体的な統合作業に入るため当研究会を発展的に解散し、統合協議会を新たに設置することとなりました。

坂出商工会議所視察研修



去る9月1日、坂出商工会議所より、榊会頭を始め商業部会員並びに振興委員21名が視察研修に来所されました。

本所からは沼崎副会頭、渡辺良三商業部会長が出席し、当市の経済概況や観光客入り込み状況、函館ティーエムオーや大門屋台村など中心市街地活性化への取り組みなどについての説明がなされ、そのあと活発な意見交換が行われました。

また、現在当市の冬のイベントの目玉となっている「はこだてクリスマスファンタジー」について、第1回実行委員長の星野勉氏を講師に迎え、イベント発案の契機や実現への苦労、経済波及効果について講話がなされ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

石川県商工会議所連合会視察

石川県商工会議所連合会に所属する金沢商工会議所（西村専務理事）・小松商工会議所（清水専務理事）・加賀商工会議所（荒井専務理事）・白山商工会議所（中

村専務理事）らが、去る9月11日に本所を訪れ、新幹線に係わる諸問題を中心に意見交換を行いました。

当日は、本所から古川専務理事・野崎理事らが出席し、

- 新函館駅と車両基地の現況
- 並行在来線対策
- 函館空港の方向性
- 交流人口の拡大と観光面での影響
- まちづくり
- ストロー現象

等をメインテーマとし、北陸新幹線の延伸に伴う諸問題と北海道新幹線建設に係わる函館の状況に対比しながら懇談しました。

おもてなしのココロセミナー開催



「おもてなしのココロセミナー」が去る9月14日、本所会議室において開催されました。

当日は、昼と夜の2回に別れて開かれ、昼・夜併せて90名が参加しました。

同セミナーは、去年も好評だったことから、今年も引き続き行われることとなり、講師には(有)エスパス・マナーアカデミー函館支店長の岡田京さんを迎え、接客応対や笑顔の作り方、お辞儀の仕方などの講義が行われました。

なお、同セミナーは本所青年部主催の「はこだてスマイルキャンペーン」（パコスマ）に合わせ行われており、観光都市「函館」と「笑顔」をテーマにこれからも連動して開催していく予定となっています。

観光プロモーション 表敬訪問団が当地観光をPR



井上市長、高野会頭をはじめとする函館・南北海道観光プロモーション表敬訪問団10名が10月2日、3日の日程で各航空会社・旅行会社などへ対して当市観光のPR及び観光客誘致への要望を行ってきました。

2日には、(株)日本航空、(株)JTB、東日本旅客鉄道(株)を訪問し、3日は、トップツアー(株)、全日本空輸(株)、(株)日本旅行、近畿日本ツーリストをそれぞれ訪問してきました。

今回のトップセールスは、ここ数年、他地域との競争激化や海外旅行の低価格化等の影響により、当地域観光客の入り込みが減少傾向となっていることから実施されたものです。

一方では、函館空港のリニューアルや今年4月に新五稜郭タワーが完成するなど、当市の観光客の受け入れ体制としての機能は着実に整備されてきており、そういったことを踏まえ、当訪問団が各航空会社、旅行会社に対して当地観光への更なる協力を要望してきました。

第64回 全道商工会議所大会開催

第64回全道珠算競技大会が去る9月10日、帯広市において開催され、当地区から32名の選手が参加したほか、全道各地から360名の選手が参加しました。

昨年6年ぶりに優勝した都市対抗競技は惜しくも3位となりましたが、読上暗算競技中学生の部で川村知布実さんが優勝、東野里香さんが2位となるなど、多数の選手が入賞しました。

当地区代表の入賞者は右記のとおりです。



【入賞者函館分】

【都市対抗競技】

3位 函館市

【個人競技】

○一般の部

4位 八木 泰樹

○高校の部

2位 久慈 拓哉

○中学生の部

2位 川村知布実 4位 東野 里香

優良賞 穴田 晃一

○小学校5・6年生の部

優良賞 梅田和歌子

○小学校4年生以下の部

6位 岩本 奈々

【読上暗算競技】

○一般の部

2位 八木 泰樹 6位 山本 梢太

○高校の部

7位 久慈 拓哉

○中学生の部

優勝 川村知布実

2位 東野 里香

6位 穴田 晃一

○小学校5・6年生の部

8位 高橋 将史・梅田 和歌子

○小学校4年生以下の部

4位 伊藤 玄

【読上算競技】

○一般の部

2位 山本 梢太・八木 泰樹

○高校の部

4位 久慈 拓哉

○中学生の部

7位 川村知布実・南山 和哉

○小学校5・6年生の部

8位 熊谷 育美

★議員会・女性会・青年部活動

青年部活動

■第6回正副会長会議、役員会

第6回正副会長会議並びに役員会が去る9月6日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催されました。

当日は、報告事項として各委員会活動報告や各諸会議への参加報告が行われました。

そのあと、協議事項として来たる10月12日、13日の両日に開催される観光振興大会への参加協力について協議し、了承されました。

■第2回カルチャーナイト実行委員会

去る9月13日、本所会議室において15名が出席し開催された。

当日は、来たる12月22日の開催へ向け、各施設・団体の開放施設等の確認を行い、ほぼ昨年同様の施設の協力得ることとなり、内容については各施設ともに10月中旬までに決定することとなりました。

なお、今後のスケジュールについては、10月中にポスター・リーフ等を作成し、完成しだいPR活動を行っていくこととしています。

■青函合同例会



▲本所青年部と青森商工会議所青年部による合同例会

毎年本所青年部と青森商工会議所青年部とが青函交流の一環として交流事業を行っており、今年は青森市において開催され、当青年部からは折谷会長はじめメンバー25名が参加しました。

例会では、両青年部の事業報告としてまず青森側の事例発表が行われたあと、本所青年部の事業報告として、当市では現在、スマイルキャンペーンの真っ最中

でもあることから、当事業の趣旨説明や各グッズを配布するなどし、また、スライドショーをみながら担当委員会である田中委員長・木佐委員による説明が行われました。

また、そのあと行われた懇親会では、今後も両市の交流を更に密に行っていくことを確認し盛會理に終了しました。

■経済情報委員会

去る9月25日、旬暦ひだかにおいて委員会メンバー9名が出席し開催されました。

当日は、先月1日より行われている「はこだてスマイル」の各グッズの配布状況や、今年新たに行われている写真コンテストの申込状況等の報告が行われました。

また、当委員会主管で11月に控えている定例会事業の打合せ等も行われました。

■国際委員会

去る9月26日、本所において委員会メンバー8名が出席し開催されました。

当委員会では、昨年よりビジネスミッションとして海外のマーケット市場の視察等を行っており、今年度も実施することを確認し視察先について議論した結果、来年2月にベトナムへ行く方向で検討しています。

なお、今後は視察期間・日程等について協議していくこととなっています。

■総務局会議

去る9月28日、旬暦ひだかにおいてメンバー6名が出席し開催されました。

当日は、来たる12月15日に予定しているシャンソンリサイタルコンサートについて、また、12月22日予定されている「はこだてカルチャーナイト2006」、さらに10月22日に予定されているシーニックバイウェイ・バスツアーについての話し合いが行われました。

なお、上記の3案件については、役員会にて上程することとし、また、主管となる委員会と連携をとりながら各事業の開催へ向け準備を進めていくこととしています。

中小企業相談所 だより

金融	経営改善	税務
労務	法務	新規創業
取引照会	情報化	環境対策

どんな事でもお気軽に！各種お申込・
お問い合わせはTEL0138-23-1181へ。

10月1日よりスタート!

創業をお考えの方

開業間もない方

函館商工会議所 新規開業者利子補給制度

をご活用下さい。

国民生活金融公庫函館支店の、新規開業者を対象とする融資の
利子1%分を補助します。

◆補助対象者

本所においてあらかじめ経営指導を受け、必要な手続きをした上で、国民生活金融公庫函館支店より新規開業者向け融資を受けた方で、次の何れかに該当する方

- (1) 函館市内において、2ヵ月以内に新たに事業を開始する予定の個人、もしくは法人を設立して事業を開始する予定の個人。
- (2) 函館市内において、すでに事業を開始している個人または法人で、事業開始後2年未満のもの。
※「2ヵ月以内」及び「2年未満」は、貸付年月日を基準として、算出します。

◆補助対象額

借入額のうち、1,000万円以下までに係る支払利子額の利率1%に相当する部分

※利子補給金は年度末(3月)締めにて計算され、お支払いは年1回です。

◆当制度取扱期間

平成20年3月31日まで

◆利子補給期間

貸付年月日から3年間

注1) 事業の廃止・休止、市外へ転出の場合は、当該日以降は補助対象期間となりません。

注2) 当制度の申込みの有無は、国民生活金融公庫の貸出審査に影響を与えるものではありません。

★補助を受けるには借入申込みの前に必要な手続きがございますので、必ず事前
にご相談下さい。

ご相談・お問い合わせ 函館商工会議所 中小企業相談所
函館市若松町15-7-61(北洋ビル6階) TEL 23-1181

